

いわくに 地産地消だより

～たまねぎ～

岩国学校給食センター
H27.7 発行 NO.4



33戸と2法人の生産者が、たまねぎを栽培しています。栽培面積は約250アール(a)、岩国市民球場の約1.3倍の広さです。

8月に苗床の土壌を消毒し、9月初旬に種をまきます。11月に20cm位に育った苗を畑に植えます。5月中旬～6月上旬に収穫時期をむかえます。

5月～7月に、給食で岩国産のたまねぎを使用します。5月14日に、周東町祖生にある、JA山口東の神尾組合長の圃場（畑）を訪問しました。



一番気をつけていることは、排水です。まず、排水が良く栽培に適した圃場を選びます。溝を掘って、水はけを良くする工夫をしています。

排水が良くないと、ベト病という病気にかかりやすくなります。

露地栽培でマルチを使用

黒いマルチ（ビニール）でおおって栽培します。

- ①草が生えない
 - ②土の温度を上げ、大きく成長させる
 - ③水の害を防ぐ
- などの効果があります。

岩国産たまねぎ使用量

（岩国学校給食センター）

5月	1220	kg
6月	2110	kg
7月	1300	kg
合計	4630	kg

たまねぎは、給食で一番多く使う野菜です。たくさん提供していただけることは、とてもうれしいですね。



～収穫で大活躍の機械～



たまねぎピッカー



たまねぎ収穫機

～生産者からのメッセージ～

安全・安心に心がけて栽培しています。

ぜひ、食べてください。

